

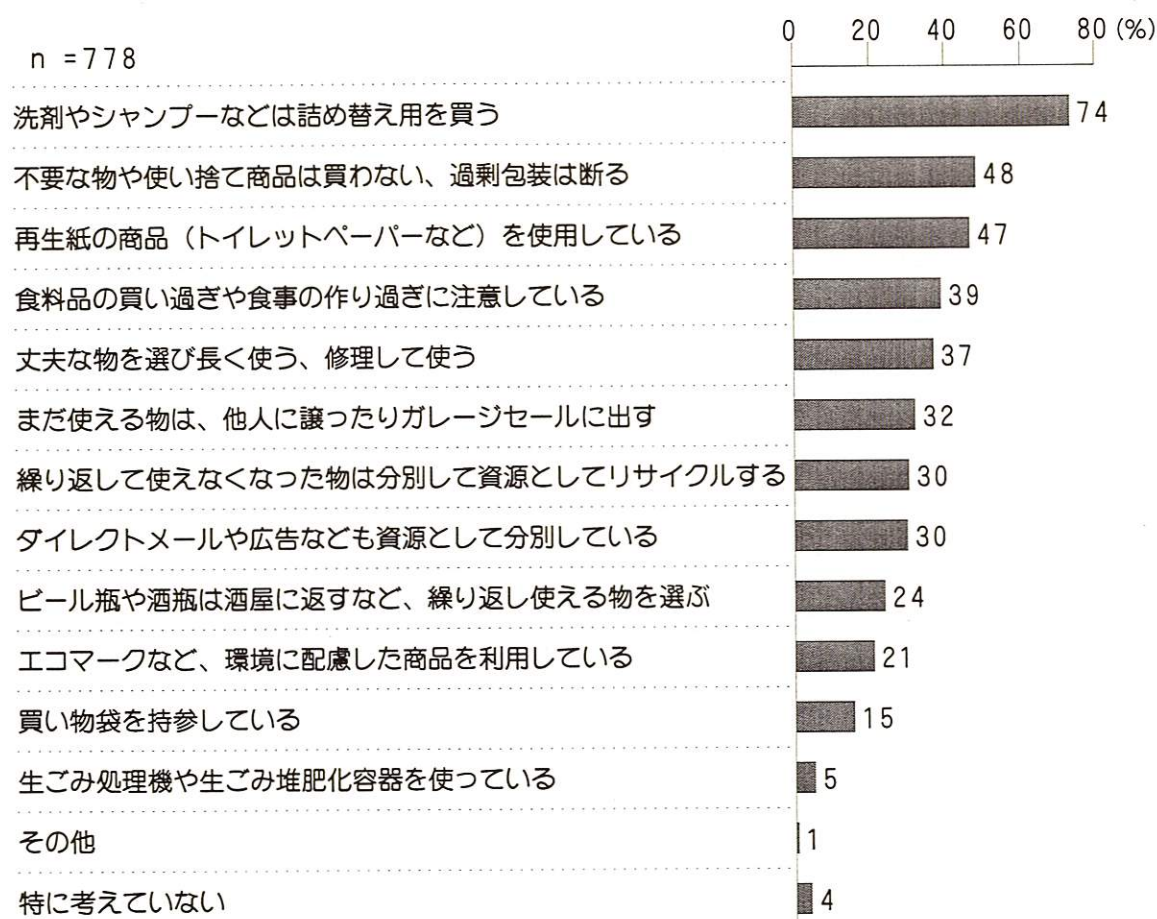
5. ごみ減量とリサイクル

5-1. ごみ減量やリサイクルのために心がけていること

問9. あなたがごみ減量やリサイクルを進める上で、日常心がけていることは何ですか。

この中からいくつでもあげてください。

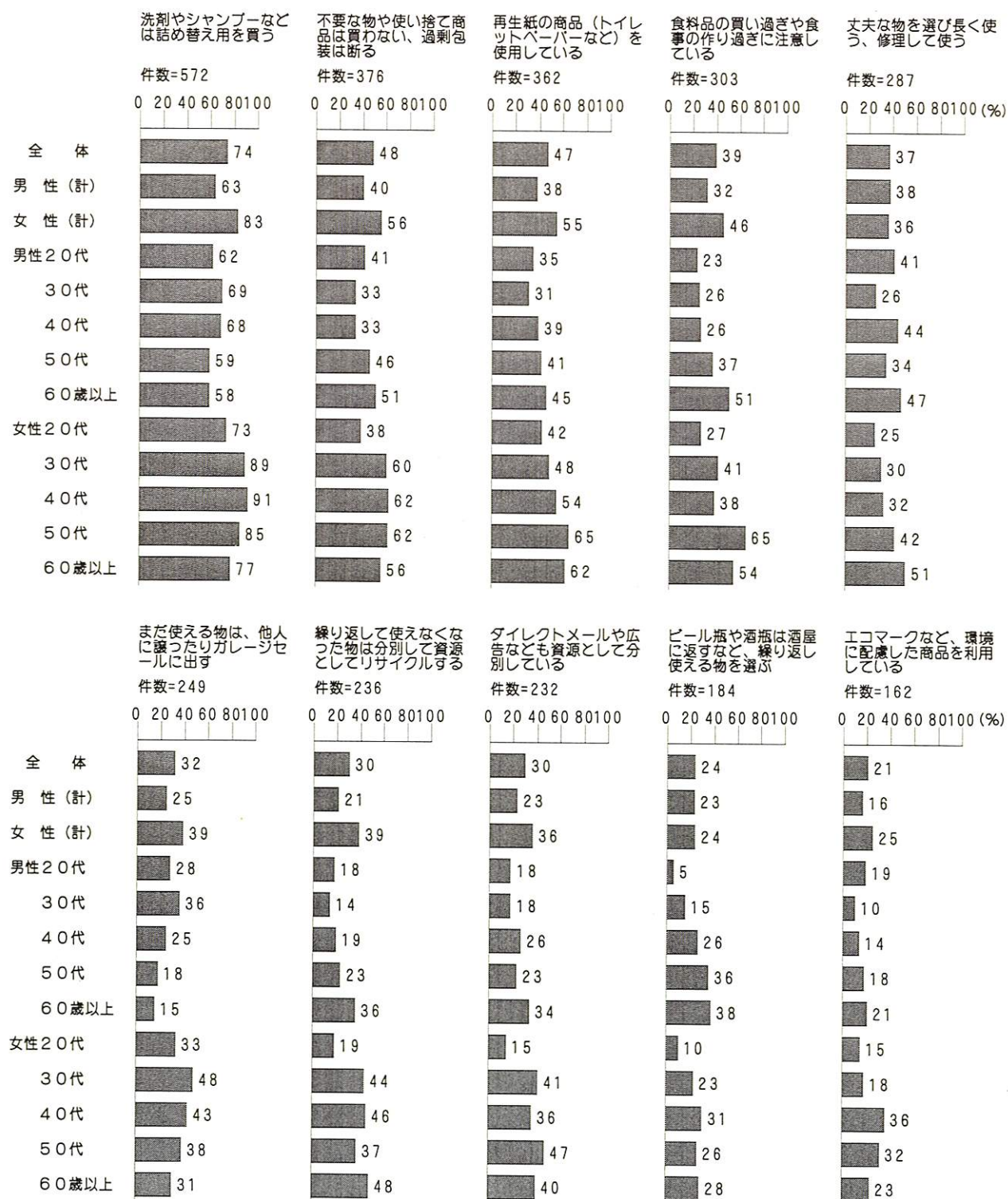
図5-1-1



ごみ減量やリサイクルを進める上で心がけていることについてたずねたところ、「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」が74%で最も多く、次いで「不要な物や使い捨て商品は買わない、過剰包装は断る」（48%）、「再生紙の商品（トイレットペーパーなど）を使用している」（47%）の順になっている。（図5-1-1）

性・年代別にみると、すべての性・年代で「洗剤やシャンプーなどは詰め替え用を買う」が最も高い項目となっており、男性（63％）よりも女性（83％）の方が高くなっている。他のほとんどの項目でも、男性よりも女性の方が高くなっているが、「丈夫なものを選び長く使う、修理して使う」は女性（36％）よりも男性（38％）の方が高くなっている。（図5-1-2）

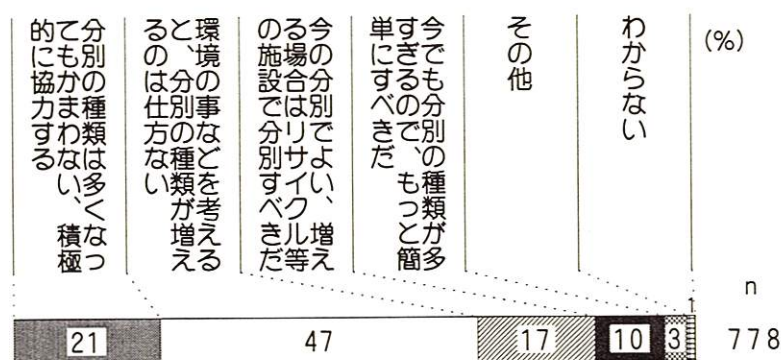
図5-1-2 ごみ減量やリサイクルのために心がけていること(上位10項目)－性・年代別



5-2. ごみの分別の種類が増加することに対する考え

問10. 循環型社会の進展に伴い、ごみの分別の種類がより多くなることが予想されます。現在、福生市ではごみが4種類、資源が11種類の計15種類に分別しています。今後、分別の種類が増えることについてどう思いますか。この中から1つだけあげてください。

図5-2-1



今後、ごみの分別の種類が増えることについてどう思うかたずねたところ、「分別の種類は多くなってもかまわない、積極的に協力する」（21％）と「環境の事などを考えると、分別の種類が増えるのは仕方ない」（47％）を合わせた“肯定派”が68％となっており、「今の分別でよい、増える場合はリサイクル等の施設で分別すべきだ」（17％）と「今でも分別の種類が多すぎるので、もっと簡単にすべきだ」（10％）を合わせた“否定派”の27％を大きく上回っている。

（図5-2-1）

性・年代別にみると、「環境の事などを考えると、分別の種類が増えるのは仕方ない」が男性40代（60％）で高くなってる。また、「今の分別でよい、増える場合はリサイクル等の施設で分別すべきだ」が女性60歳以上（27％）で他に比べて高くなってる。（図5-2-2）

職業別にみると、「環境の事などを考えると、分別の種類が増えるのは仕方ない」が勤め人で49％と約5割を占めている。自営業でも無職でも「環境の事などを考えると、分別の種類が増えるのは仕方ない」が最も高くなっているが、勤め人に比べると「分別の種類は多くなってもかまわない、積極的に協力する」が自営業と無職は高くなっている。（図5-2-3）

図5-2-2 ごみの分別の種類が増加することに対する考え—性・年代別

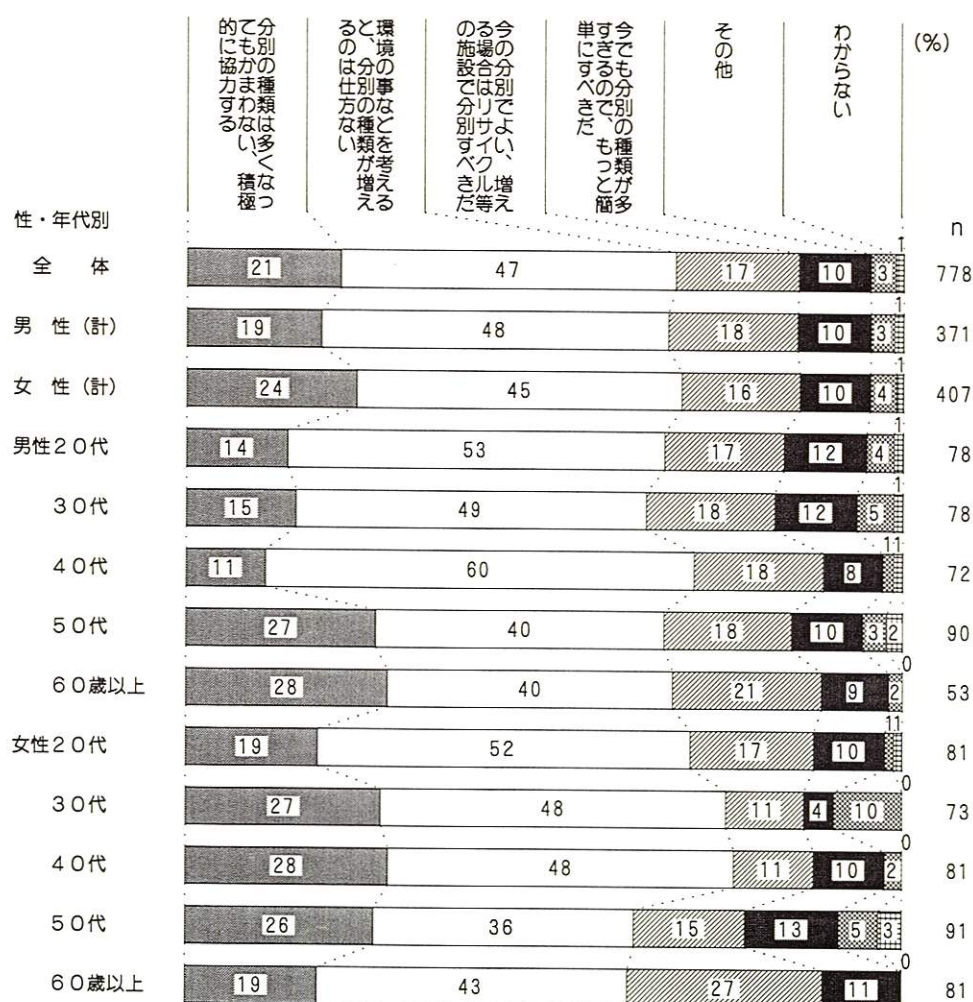


図5-2-3 ごみの分別の種類が増加することに対する考え—職業別

